

## 2022年 Velo-city（ベロシティ）Global 開催事業 募集要項

### ■ 趣旨

Velo-city は 1980 年にドイツのブレーメンで第 1 回会合が開催されて以来、13 カ国で 25 回開催されて来た自転車まちづくり国際会議です。2010 年からは奇数年は EU で、偶数年は EU 域外の都市で開催されるようになり、偶数年については Velo-city Global（ベロシティ グローバル）と呼んでいます。

2016 年にはアジア地域で初めて台湾・台北市で開催され、43 カ国から約 1,000 名の会議参加者、約 160 名の講演者、約 5,000 名の自転車パレード参加者を集めました。

これまでの開催都市は、Velo-city 開催を機に世界に誇りうる人間優先のまちづくりを宣言し、発信し、実現に向けて成果をあげつつあります。私たちは日本の自治体が「Velo City」開催都市への立候補することを願っており、これを支援するため『Velo-city Global 誘致準備会』を立ち上げました。

『Velo-city Global 誘致準備会』は過去に Velo-city に参加してきたメンバーを中心に組織されており、既に、主催都市と共同主催となる ECF（European Cyclists' Federation）との交渉窓口を設け、求められる事業の準備を進めています。さらに『Velo-city Global 誘致準備会』には、自転車活用推進法第 8 条に基づき、国（自転車活用推進本部）もオブザーバーとして加わっています。

### ■ 応募の要件

都市が Velo-city Global を実施するには、会議のコンセプトや論文審査、講演者の選定を行うサブスタンス・チーム、資料作成や会場運営、自転車パレード、展示ブース設営などを行うロジスティック・チーム、そして予算確保、スポンサー獲得、資金管理、宣伝広報を担うバジェット・チームが必要となります。

応募主体は原則として特別区を含む市町村です。都道府県が協調して支援することは妨げません。複数の「City」が連携協働して応募することも可としますが、その場合はすべての自治体名を含む意思統一された単一の団体名でご応募ください。

本事業に応募するには別紙のチェックリストをよく検討し、組織として実現を模索する体制を構築してください。また、当面の所要経費をまかなうための財源の確保についても準備をお願いします。

ECF の選定を促すには各種関係会議でのアピールが重要です。たとえば、2018年のブラジル・リオデジャネイロ市、2019年のアイルランド・ダブリン市で開催される Velo-City に、高位責任者が参加し積極的に立候補をアピールする必要があります。また、ECF が共催・後援あるいは積極的に支援し、ECF をはじめとする各国の自転車・交通施策関係団体幹部や先進自治体首長の参加がある EcoMobility World Festival / Congress（主催 ICLEI）、APCC（アジア太平洋自転車会議）など自転車や交通に関する国際会議への参加および関係者との交流や、国内において ECF の主要メンバーを交えた国際的な自転車政策に関するフォーラムを開催するなど積極的な活動を展開することが望ましいと思われまます。

#### ■ 立候補した都市への支援について

『Velo-city Global 誘致準備会』では、ECF との交渉、情報の収集と誘致のためのアドバイス、論文審査、講演者の選定作業、資料作成や会場運営に関するアドバイス、自転車パレードや国内他地域での関連イベントの企画運営についてのアドバイスを行います。また、自転車活用推進本部と連携した支援体制の構築に努力します。

#### ■ 選定基準

候補都市の選定については『Velo-city Global 誘致準備会』が、提出された Velo-city Global 立候補仕様書と、東京において開催する予定の担当者ヒアリングに基づいて行われます。

最終審査会は原則公開で年度末までに開催する予定です。

日本を代表する自転車都市としてその年の名が世界に発信され、市民が質の高いライフスタイルを誇りに思う街へと進化する意欲に満ちた都市であることが前提ですが、下記に列挙するポイントも踏まえて選考いたします。

- 開催会場の規模
- 参加者受け入れ体制
- バイクパレードコース

- ECF への分担金（約 3000 万円）支払い能力
- Velo-city Global 開催資金の確保
- 高位の責任者の設定と専従担当者の確保
- 『Velo-city Global 誘致準備会』との連携

#### ■ 募集期間・応募書類の提出方法

##### （1）募集期間

平成 29 年 12 月 5 日から平成 30 年 1 月末日

##### （2）応募締め切り

平成 30 年 1 月末日 17:00 必着

##### （3）提出方法

下記提出先まで郵送および電子メールの双方で提出すること  
応募書類ならびに立候補仕様書については自活研サイトからダウンロードしてご利用ください。

##### （4）提出先

特定非営利活動法人自転車活用推進研究会  
『Velo-city Global 誘致準備会』  
141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1  
自転車総合ビル 4 階  
アドレス：[info@cyclists.jp](mailto:info@cyclists.jp)

#### ■ 担当者ヒアリングについて

応募された自治体の担当者を対象とし、開催候補地のヒアリングを実施します。

##### （1）開催時期

平成 30 年 2 月の平日（開催日・時間はご応募があった自治体にお知らせします）

##### （2）開催地

東京都内（具体的な開催場所をご応募があった自治体にお知らせします）

##### （3）ヒアリング内容

各自治体からのプレゼンテーション及び質疑の形式で実施します。

質疑についてはご提出いただいた「Velo-city Global 開催希望表明書」及び「開催都市における ECF 要求事項への対応可能性チェックリスト」の内容についてお聞きします。  
時間等詳細は応募いただいた後にお知らせします。

##### （4）出席者

Velo-City 誘致に関する担当者様の出席をお願いしますが、それ以外の説明者については各自治体でご検討ください。

出席者数は 10 名以内を想定しています。

(5) 審査

Velo-City Global 誘致準備会により質疑を行い、審査を行います。

(6) その他

配布資料の量・ページ数・資料内容に制約はございませんが、Velo-City 誘致に直接関係する資料のみとしてください。

■ お問い合わせ先

準備会連絡事務局：NPO 自転車活用推進研究会内

141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

自転車総合ビル 4 階

[info@cyclists.jp](mailto:info@cyclists.jp)

080-3918-2932 (代表・小林)

090-5301-3207 (内海)

Velo-City招致に関するスケジュール

年度	年	月	VeloCity2022に関する動き		Velo-Cityに関する動き	関連する自転車関連行事等	備考		
			国内開催地選定	開催地選定(EOF)	太字: EOFが主催・共催・支援している会議				
29年度	2017	11	国内開催地募集告知			2020開催地公募締切			
		12				2020開催地決定			
	2018	1	国内開催地募集締切						
		2	開催地にアタリ				Winter Cycle Congress2018(モスクワ)		
30年度	2018	3	国内開催地決定						
		4							
		5			Velo-City Global 2018(リオ・デ・ジャネイロ)				
		6		Velo-Cityへの参加・日本のアピール				推進計画(国)閣議決定	
		7							
		8				2021開催地公募締切			
		9		予算要望(招致費用)					
		10							
		11							
		12					2021開催地決定		
		31年度	2019	1					
				2					Winter Cycle Congress2019(未定)
3									
4				2022大会 入札マニュアルの交付					
5				EOFとの話し合い					
6				Velo-Cityへの参加 日本&開催候補地によるアピール・PR		Velo-City 2019(ダブリン)			
7									
8				2022大会 提案・入札の締め切り					
9									
10				EOF現地調査・現地視察 2022候補都市リストに関する決定 (最終候補の選定)			EcoMobility World Festival/Congress2019 APCC2019		
11				EMWF・APCCへの参加等			日本からの参加・発表、出展		
12						2022開催地決定			
32年度	2020	1		開催都市との契約締結 契約金の支払い①					
		2					Winter Cycle Congress2020(未定)		
		3							
		4							
		5				Velo-City Global 2020(未定)			
		6		開催都市PR					
		7							
		8						東京オリンピック・パラリンピック	
		9							
		10							
		11							
		12							
33年度	2021	1		契約金の支払い②					
		2					Winter Cycle Congress2021(未定)		
		3							
		4							
		5				Velo-City 2021(未定)			
		6		開催都市PR(プレゼンテーション)					
		7							
		8							
		9							
		10		契約金の支払い③ EMWF・APCCへの参加等			EcoMobility World Festival/Congress2021 APCC2021		
		11					日本からの参加・発表、出展		
		12							
34年度	2022	1							
		2					Winter Cycle Congress2022(未定)		
		3							
		4		契約金の支払い④					
		5				Velo-City Global 2022			
		0.4							
		7							
		8							
		9							
		10							

## Velo-city Global 立候補仕様書

Velo-cityGlobal は単なる国際会議ではなく「自転車に、よりやさしいまちづくり」を基本に都市の持続可能性を向上させることを目的としています。また、観光、健康、教育、環境など、さまざまな分野からの参加者が交流することを求めています。自転車環境整備が整っていること条件ではありません。「自転車に、よりやさしいまちづくり」を強く目指しているか、Velo-city Global 開催によってその目標がいかに加速されるかが、ECFの関心事であると表明しています。

この仕様書は Velo-city Global の入札マニュアル等に基づいて作成されています。

### ■Velo-city Global の概要

- ・Velo-city は自転車利用環境とまちづくり政策についての世界最大の国際会議。
- ・1980年にドイツ ブレーメン市で開催され、以降は ECF (European Cyclists' Federation) が主催
- ・2010年以降 Velo-city Global として偶数年は欧州域外の都市で開催。

### ■Velo-city 会議の目的

- ・自転車利用環境における質の高い知識、有益な最新情報、交通計画を国際レベルで広める。
- ・優れた自転車政策を持つ都市の知見が、市民や事業者などに紹介され周知される。
- ・自転車が効率的で健康に良く、環境にやさしい交通手段として認識され、その活用を推進する。
- ・自転車計画を交通、土地利用計画その他自転車が重要な役割を果たす関連の政策部門に組み込む。
- ・対象となるあらゆる出資者からの支援を求める。
- ・地域の自転車団体や市民団体を巻き込み、その活動を支援する。

過去の Velo-city 会議開催都市が受けた恩恵は次のようなものです。

- 交通及び自転車施策を高めることができた。
- 開催都市として国際的に知名度が上がり、高い評判を得た。
- 都市と自転車利用者グループの間に、より実りある関係を築くことができた。
- 都市とその政策について市民の関心を高め、目標を周知させることができた。
- 交通及び環境計画について、他都市や別の角度からの改善点を見いだせた。
- 関連した分野での先駆的な政策や事例を研究することができた。
- 交通問題に関して選挙された代表者たちの理解を得られた。
- この分野の他の関係者と、幅広く出会い、結び付きを育てることができた。

# Velo-city Global 開催希望表明書

開催予定年：2022年

事務局欄

1	自治体名	※自転車政策に熱心な、あるいは熱心に取り組もうとしている市町村（複数の自治体の連携も可）	
2	担当者名		
3	担当部局		
4	連絡先	Email : 電話 :	
5	開催予定会場	※ メイン会場 500名以上1つ ※ 分科会会場 200名以上4つ以上 ※ そのほか、展示会場、ECF 会議室・関係者控室等の確保も必要です（5～6室） ※ 複数の会場を利用する場合はどの会場で行うかを示してください。 ※ 会場候補となる施設等のパンフレットを添付してください。複数の施設を利用する場合にはその位置関係がわかる資料を添付してください。	
6	開催希望時期	※5月の自転車月間を想定していますが、地域の事情を考慮することは可能。休日を挟んで4日間です。	
7	バイクパレードコース想定	※4000人以上15km以上の自転車利用啓発パレードが恒例です。現時点で想定される、あるいは希望するコースをお示してください。 今後の関係機関協議等を理由に変更になることは妨げません。自治体として現時点で行いたいプランをお示してください。 簡単な図面を添付してください。図面には会議の会場施設の位置も示してください。	
8	予算確保見通し	※2016年台北市は会議前後のツールド台湾、展覧会（台北ショー）を含め約3億円投入とのこと ECFへは30万ユーロの負担金支払いが事前に必要です。	

【記入例】

## Velo-city Global 開催希望表明書

開催予定年：2022 年

事務局欄

1	自治体名	〇〇市（及び■市・△△町を含む〇〇都市圏）	
2	担当者名	自転車 太郎	
3	担当部局	都市建設部自転車推進課	
4	連絡先	Email : jitensya@kurukuru.kuru.jp 電話 : 000-000-0000	
5	開催予定会場	※ 〇〇コンベンションセンター・〇〇市立中央図書館（メイン会場・分科会会場・展示会場等）：同一の建物 ※ インターナショナルホテル〇〇（レセプション）：会場から徒歩 5 分 ※ 〇〇駅前まちなか広場（屋外展示会場）：会場前	
6	開催希望時期	2022 年 5 月 × 日（土）～5 月 ○ 日（火）	
7	バイクパレードコース想定	※〇〇駅前（会場前）～■宿歴史的景観地域～〇〇城跡～〇〇大学～■大橋（〇〇バイパス）～△△寺門前～△△駅～△△町役場～■海岸～△△川堤防道路～〇〇市中心部～〇〇市役所～〇〇市中央公園（ゴール） L=14.5km	
8	予算確保見通し	※平成 30 年度 C=7500（千円）を要求。 平成 31 年度以降、市の自転車活用推進及び MICE 予算として確保が可能と考えている。	



## <<開催都市における ECF 要求事項への対応可能性チェックリスト>>

下記は ECF への応募書類に記載が必要となる項目について、対応可能性について質問形式で整理したものです。なお、2022 年の募集要項が明らかではないためすべての項目を ECF への応募書類に記載するとは限りません。

すべてを現時点で対応する必要はありませんが、現時点での見込みについてチェック欄に記入して表明書と一緒にご提出ください。

チェック欄には下記を記入ください。

○可能である

△要検討

? 現段階で不明

その他の場合はコメントを記入ください。

### 1. 誘致活動

	確認項目	チェック欄
1	Velo-city Global を開催するねらいはとして、政策の促進など明確なねらいを説明できますか？	
2	会議開催に向けて考えている自転車利用環境施策として、世界に発信できる誇れる施策を実行し、アピールできますか？	
3	想定する会議のテーマは？ 貴市の施策に根差した世界に訴えるテーマ設定が可能ですか？	
4	会議のプログラムの狙いと目的は？ 上記のコンセプトに合わせた登壇者の確保など魅力的なプログラムを構成できますか？	
5	会議参加者が関心を示しそうな既存の自転車インフラはありますか？ 計画段階の場合、会議開催までに完成しますか？	
6	2022年の開催までに自転車利用を増やす計画はありますか？	
7	開催に向けて、Velo-city 開催に向けた開催準備委員会(周辺地方自治体の代表、交通と環境などの関係する庁内部局、地域の自転車活動団体、コンベンションビューロー、マーケティング組織、地元、地方、国レベルの自転車に関する部局の代表などを網羅した組織)を構築可能ですか？	
8	会議開催に関する責任の所在を明確にできますか？	
9	会議の開催に関する責任者として副市長レベル以上の高位者をたてるのが可能ですか？	
10	ECF 担当者との継続可能な連絡窓口を設けることができますか？	
11	会議に向けた予算を確保する見通しがありますか？	
12	立候補に向けて ECF へ支払いを準備することが可能ですか？	

13	ECF 幹部を候補地に呼ぶ計画をたてることができますか？	
14	スポンサー(国の関係省庁、地方、市、企業)から財源を協力を得る見込みはありますか？	
15	資金調達の責任者を明確にすることができますか？	
16	開催準備に向けての期間に予定されている首長、地方議会選挙があっても継続的な対応が可能ですか	
17	各関係省庁、企業、関係団体との十分な連携構築が可能ですか？	
18	ECF への立候補までに開催される Velo-city 会議に参加可能ですか？ その場合、市長などの責任者の参加も可能ですか？	
19	ECF への立候補、選定後の開催に向けた工程を十分に理解して、実行できますか？	
20	開催に向けて十分な PR 計画と体制構築が可能ですか？	

## 2. 会議

	確認項目	チェック欄
1	2022 年の会議の開催日程の予定を明確にできますか？(ECF は 5 月～6 月を希望)	
2	開催場所として適切な場所を確保できますか？	
3	開催場所はその都市の中で明確に位置付けできますか？	
4	本会議とワークショップを合わせて 4 日間の確保が可能ですか？	
5	本会議の前後に関係者の交通問題に関する視察、参加者のグループ関連会議、懇親会、配偶者や随行者向けプログラムなど、付随行事を整えることは可能ですか？	
6	会議レベルの高い参加者を集めるための戦略を立てることが可能ですか？	
7	会議予定場所は 1,000 人～1,500 人を受け入れ可能ですか？	
8	会場でレセプション、ガラパーティ(賓客用)のケータリングは準備可能ですか？	
9	会議形式は下記のような形式以外も想定していますが、会場では対応可能ですか？ 移動可能なテーブル・椅子などが必要です。 ■サブ会議 ■ワークショップ ■ラウンドテーブルディスカッション ■その他のインタラクティブな形式 ■視察	

10	国内から多様な参加者を募る計画をつくることが可能ですか？ ■都市計画プランナー及びエンジニア■自転車利用者グループの代表者と自転車支援団体■地域、国内及び国際的な政治家■メーカーや販売に関心のある業者を含む自転車業界■関連する国内及び国際組織や機関■公共交通事業者や団体■医師及び健康推進の関係者■レジャーや観光経営者■学者及び研究所■交通と環境コンサルタント■土地利用管理及びエネルギー政策関係者■子どもとモビリティの問題についての行政担当者や研究者■サイクリングの経済的側面についての研究者■気候変動対策や大気汚染防止に関する行政担当者や研究者	
11	組織や計画への地域の自転車利用者団体の関与を受け入れる体制を構築できますか？	
12	本会議や同時進行セッションでの通訳設備、同時通訳、逐次通訳、(複数の対象言語)を準備することは可能ですか？	
13	国際的、地域的コミュニケーション担当者を適切に配置することが可能ですか？	
14	実施後、会議の評価レポートを作成することができますか？	
15	自転車利用者団体の代表やNGO、開発途上国の人々が参加しやすいよう、財政措置を含めた配慮をおこなうことは可能ですか？	
16	会議前の論文提出、会議後のプレゼンの開示、会議に必要な図や写真の提示など、記録する体制を整えられますか？	
17	会議の実施体制計画は適切な時期までにまとめることが可能ですか？	
18	会議の進行やスタッフについて、協力者、団体などの確保ができますか？	

### 3. 会議関連

	確認項目	チェック欄
1	会議の参加者に対して開催地の良い印象を残すための、会議以外のプログラム(懇親会、ランチパーティなど)を計画可能ですか？	
2	参加者の宿泊について多様な施設(五つ星、三つ星、ホームステイ、民泊など)の確保はできますか？	
3	会議参加者や協力者に移動のための無料の自転車レンタルを提供できますか？	
4	会議場、宿泊場所と空港、鉄道、バス、自転車などで交通拠点を結ぶ適切な輸送ができますか？	
5	会議の前後のサイドイベント(学術会議・シンポジウム・展示会・イベ	

	ント等が想定されます)を計画できますか？	
6	参加者の同行者に対するプログラム(文化プログラム、観光プログラムなど)を提供可能ですか？	
9	会議参加者に配布する多様なグッズを用意可能ですか？	
10	会議に伴う企業等の展示を行うことが可能ですか？	
11	展示会場は会議施設内(または隣接地)で確保できますか？	
12	展示のための多様な出展者を募集することが可能ですか？	

#### 4. バイクパレード

	確認項目	チェック欄
1	パレードのテーマ、キャッチフレーズの適切なアイデアを提示できますか？	
2	想定規模(台北市では4,000人以上が参加)のパレードを実施できますか？	
3	パレードのコースの計画を立てることができますか？	
4	通行するルート of 許可申請などについて課題を克服可能ですか？	
5	パレードに合わせてイベントとしてプログラムをつくるのが可能ですか？	
6	パレードに伴うコンサートや体験、飲食などの催しを行えますか？	
7	仮装など、パレードを盛り上げる演出はできますか？	
8	参加者が用いる貸出の自転車について台数を確保できますか？ (会議参加者の人数分の台数は確保が必要です。VIP用なども必要となります。)	
9	ハンドサイクルやタンデムなど多様な自転車の参加を認めることが可能ですか？	
10	パレードに障がい者や高齢者の参加は期待できますか？	
11	パレードの計画や参加呼びかけなど地域の自転車関連団体との連携は可能ですか？	
12	コース周辺地域への協力取り付けや一般への周知などは適切に行えますか？	
13	コースの警備やスタッフの確保は可能ですか？	
14	多言語の対応できるスタッフは確保できますか？	
15	パレードの参加費徴収、参加者管理などを構築できますか？	
16	パレード運営を担当する組織を想定できますか？	

【参考】過去の開催都市（太字は Global としての開催）

年月	開催都市	参加者数	参加国数
1980.4	ブレーメン（ドイツ）	316	10
1984.9	ロンドン（イギリス）	260	18
1987.9	フローニンゲン（オランダ）	268	21
1989.8	コペンハーゲン（デンマーク）	378	23
1991.11	ミラノ（イタリア）	310	24
1992.9	モントリオール（カナダ） Velo-Mondial	589	32
1993.9	ノッティンガム（イギリス）	423	28
1995.9	バーゼル（スイス）	456	38
1996.10	パース（オーストラリア） Velo-Australia	328	31
1997.9	バルセロナ（スペイン）	500	40
1999.4	グラーツ（オーストリア）、マリボル（スロベニア）	465	40
2000.6	アムステルダム（オランダ） Velo-Mondial	657	52
2001.9	エディンバラ、グラスゴー（イギリス）	489	42
2003.9	パリ（フランス）	726	40
2005.6	ダブリン（アイルランド）	450	37
2007.6	ミュンヘン（ドイツ）	958	50
2009.5	ブリュッセル（ベルギー）	980	52
<b>2010.6</b>	<b>コペンハーゲン（デンマーク） Velo-city Global</b>	1100	60
2011.3	セビリヤ（スペイン）	930	50
<b>2012.6</b>	<b>バンクーバー（カナダ） Velo-city Global</b>	950	40
2013.6	ウィーン（オーストリア）	1400	62
<b>2014.5</b>	<b>アデレード（オーストラリア） Velo-city Global</b>	700	40
2015.6	ナント（フランス）	1500	80
<b>2016.3</b>	<b>台北（台湾） Velo-city Global</b>	1000	43
2017.6	アルンヘム、ネイメーヘン（オランダ）	1500	
<b>2018</b>	<b>リオデジャネイロ（ブラジル） Velo-city Global</b>	_____	_____
2019	ダブリン（アイルランド）	_____	_____
2020			